

活動報告

平成16年度に入ってから実施された、ふじさんネットワークの活動です。この他にも特に開は、多くの会員が富士山周辺地域で、それぞれの得意分野を活かした活動を行っています。

○ ふじさんネットワーク総会・環境保全活動発表会

平成16年5月29日(土)

総会では、前年度の事業報告・決算や本年度事業計画・予算等についての議決を行いました。議長は、土隆一ふじさんネットワーク会長、監査報告はコカ・コーラ・セントラル・ジャパン島田広報環境部長により行われました。

環境保全活動発表会では、「富士山の森づくり」「富士山環境教育」「みがきあげ作戦」「湧水保全」について会員からの発表と「富士山に住む哺乳類」について三宅隆氏(静岡市健康文化部 理事)の講演が行われました。

○ 富士山エコレンジャー発会式

平成16年6月26日(土)

平成16年度富士山エコレンジャーのうち52名が参加し、富士山富士宮口五合目にて行いました。土会長の挨拶の後、1人づつ身分証を受けとり、必要な資材等が配布されました。

身分証を受取った参加者は、宝永火口への遊歩道等で早速活動を実施しました。富士山エコレンジャーは、7月1日から1年間、来訪者へのマナー指導やゴミの持ち帰りの呼びかけ、自然の解説など多岐に渡る活動を行っています。マイカー規制中には、シャトルバスに乗りして活動を行いました。



○ 富士山憲章キャンペーンin花博

平成16年7月17日(土)～19日(月)

開山期に合わせて、富士山憲章のPR活動を浜名湖花博「しずおかふるさと館」で実施しました。

ボランティアとして合計18名の会員が参加し、啓発物品の配布や富士山に関する質問に答え、富士山の環境保全への協力を呼び掛けました。同館内で放映中の3Dハイビジョン「富士山の恵み」を見た来館者を中心に富士山での環境保全活動をPRすることができました。県外からの来館者も多いため、全国に向けた情報発信へとつなげていけたと感じました。



富士山に生きる植物図鑑①

※点線で切り取ると、写真と解説を表裏に見ることができます。

ヒメシヤジン(キキョウ科)

ツリガネ型の紫色の花が咲き、開山期によく見られる。茎は30cm～50cm程度、花は約4cmで五合目あたりでも群生している様子を見ることができる。

ムラサキモメンヅル(マメ科)

レンゲに似た紫色の花が咲き、開山期によく見られる。砂礫地を這うように蔦状の茎が伸び、丈夫で太い根を地中深くへ伸ばします。宝永火口の砂礫地で多く見られる。

クルマユリ(ユリ科)

赤橙色の鮮やかな花が咲く。茎はまっすぐに伸び、30cm～70cm程度、花は直径約6cmで花びらが反り返るように咲く。亜高山帯に多く咲く多年草。

フシグロセンノウ(ナデシコ科)

花は淡い橙色で茎は分岐せずまっすぐに伸びる。花びらは5枚で節は太くやや黒味を帯びている。五合目以下の比較的低い地域で見ることができる。

メイゲツソウ(タデ科)

鮮やかな紅色の花をびっしりと咲かせる。雌雄異株で砂礫地で根を横に伸ばして広がる。茎は分岐し、富士山では高さは約30cm程度や小型の株が多い。

コバギボウシ(ユリ科)

淡い紫色の約3cm程度の花がやや下向きに咲く。日当たりのよい湿地に多く見られ、高さは40～50cm程度で茎はまっすぐに伸び、根は横に這う。

○ ふじさんネットワーク企画部会

平成16年8月3日(火)

昨年11月のシンポジウムで話し合われた『富士山環境行動』を具体化するために、ふじさんネットワークとして取り組む内容についての提案と検討を行いました。

富士山にかかわる活動や業務を通じて、どのような取組みが必要と考えられるのか、提案し実現可能性や必要性について話し合いました。具体的にどういった対策をとれば、よりよい環境を生み出すことができるのか、前向きな検討がなされました。



○ 富士山みがきあげ作戦

本年度も、ふじさんネットワークの会員4団体により、実施されました。みがきあげ作戦は、活動する日程や場所を団体・企業等が自主的に決めて実施する活動です。ゴミを拾うことから、捨てさせない仕組みづくりを検討します。この活動を通じて富士山五合目以下のゴミを減らしていきます。現在、参加者募集中です。ぜひご協力をお願いします。